

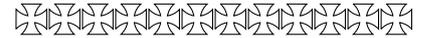


日本聖公会
大阪教区教務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
発行責任者
教務局長 司祭 原田光雄

〈HP〉 <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> 〈e-mail〉 office.osaka@nsk.org



第412号 2010年4月4日発行



「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。生きていてわたしを信じる者はだれも、決して死ぬことはない。」(ヨハネ 11・25―26)

今年も主イエスのご復活日(イースター)を迎えることができ、感謝の思いに満たされています。この日は、生かされている喜びを与えてくださる命の源である神の愛の勝利が、主イエス



信仰の春

主教 サムエル 大西 修

のご復活によって高らかに告げ知らされた最も大きな喜びの日です。

生かされている喜びを感じられず、生きていく意味も見出せない現代社会の中で、毎年3万人以上の人が、自らの大切な命を絶っています。また一方では、人の貴い命をいとも簡単に奪い取ってしまうような痛ましい出来事が、後を絶ちません。

愛することより愛されることを望

み、赦されることを願いつつも、赦すことのできない自分自身にジレンマを感じている人びとが多くいます。このような人びとを主イエスは暖かく受け入れてくださるのです。

「こんな私でも、愛されているし、かけがえない存在として生きている意味があるのだ」と、主イエスのご復活を信じる信仰によって新たな確信を得、生涯を通してそのことを強く訴え

続けた多くの証し人がおられます。

二月に主教会が熊本で行われた折、国立恵風園の中にある菊池黎明教会を全主教と一緒に訪問し、ハンセン病のために多くの迫害を受け、差別されつつ、その生涯を終えられた方々の遺骨が納められている納骨堂で祈りをささげました。その後、教会で太田執事をはじめ元患者の信徒の方からお話を聞きし、懇談する貴重な機会が与えら

れました。

千二百人ほどいた入所者も現在は四百人ほどに減り、ほとん

どが高齢者である現状は黎明教会においても同様でした。しかし、そのような中で、お一人の信徒がおっしゃった言葉は、復活の信仰に固く立ち、感謝のうちに生かされてきた何十年という生活の証しそのものでした。「わたしはハンセン病であったことを本当に感謝しています。もしわたしがハンセン病でなかったなら、きっと主イエスを信じることも、復活の信仰もなく、感謝の日々もなかったでしょう」と。その人でなくては語り得ない真実の言葉に圧倒され、深く心を打たれました。

復活日(イースター)は信仰の春です。

神が御子イエスの復活によって、すべての人を赦し、愛し、生かしてくださる約束を実現されたことを信じ、その復活の命にあずかることができることを覚え、感謝し、賛美をささげる日として、ご復活日を祝いましょう。



竹内司祭から教区報の寄稿依頼がありました。

当教会では第5週に信徒で講話をする事になっていきます。いつか当番が当たってくるので、少し考えていた事「なぜ

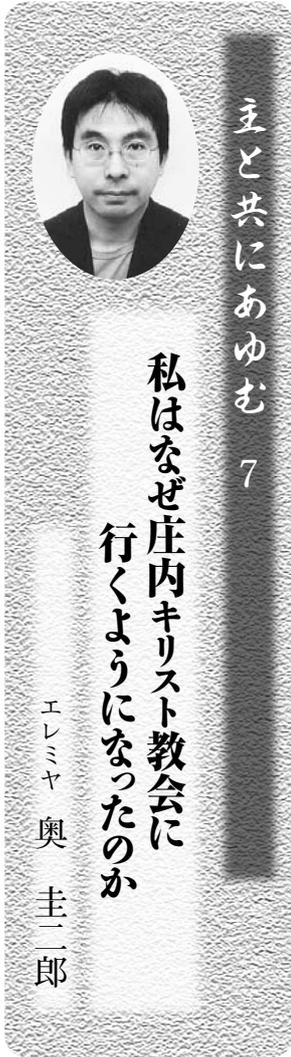
ごした高槻聖マリヤ教会以外、熱心に教会の礼拝へ出席していませんでした。

放蕩息子だった自分に何処かの集会時に、庄内の信者さんが来られていて「一度庄内

知った時、「ちよつと行ってみよう」と自然に思っ

た出席者の方も多く、2階から礼拝堂に入った時、十字架の上から光が当たっている

主と共にあゆむ 7



私はなぜ庄内キリスト教会に行くようになったのか

エレミヤ 奥 圭一郎

庄内キリスト教会に行くようになったのか」を書くかと思

います。牧師の息子として父親の転勤で幾つかの教会に行かせて頂きましたが、子供時代を過

教会へ行ってみたらどうですか」と言

て頂きました。その時はあまり「行ってみよう」とは思

って、気持ちが落ち着いてずーつと見ていた事を今

も思い出します。式が終わり帰宅途中に「庄内教会の礼拝に行

ても忘れないようにしたいと思っ

ています。当教会の礼拝に初めて参加

させて頂きました。

た。礼拝には、林さんの出身教会

で修業礼拝が行われ、修業証書が授与さ

れた。礼拝には、林さんの出身教会

を、西宮聖ペテロ教会の信徒をはじめ約80

人が参加して林さんの前途を祝し、ともに主に感謝と賛美をお

献げました。

に感謝と賛美をお献げしました。

聖餐式はウイリアムス神学館理事長・高地敬京都教

区主教が司式、修業式は神学館館長・吉田雅人司祭

ウイリアムス神学館での学び終え

林正樹さん 牧会への道に門出

大阪教区聖職候補生・ウイリアムス神学館修業生のジョー

ー・林正樹さんはウイリアムス神学館での聴講生として

2年間、および修業生として2年間の学

びを終え、3月17日(水)午後2時から、京都教区主教座聖堂(聖アグネス

会・西宮聖ペテロ教会の信徒

をはじめ約80人が参加して林さんの前途を祝し、ともに主に感謝と賛美をお

献げました。

に感謝と賛美をお献げしました。

聖餐式はウイリアムス神学館理事長・高地敬京都教

区主教が司式、修業式は神学館館長・吉田雅人司祭

が司式、修業式は神学館館長・吉田雅人司祭の司式で行

われ、大西修・大阪教区主教が説教された。

大西主教は、50歳を越えて聖職の召命に応じ、牧会に向

け一歩を踏み出す林さんに、

(次ページにつづく)

愛光幼稚園の学校法人化を目指して

司祭 施洗者ヨハネ 山本 眞

11月に開催された第102(定期)教区会で承認していただき、芦屋聖マルコ教会は愛光幼稚園の遊戯室建築に踏み切ることができました。本当に感謝です。

愛光幼稚園は1921年の秋に聖使女学院の中に設立され、翌1922年3月、兵庫県より認可を受けて以来、ひ

とりひとり大切に」をモットーにキリスト教教育に仕えて来ました。多くの方々から愛され、支えられて、今年の3月17日に第89回目の保育証書授与式を執り行うことができました。幸いに、「ぜひ、愛光幼稚園に！」と入園を希望される方が多くいてくださり、現在のところは一杯でお待ちいただいている状況です。



新しく建った遊戯室「聖使館」の前で、教職員一同

先生方も朝早くから夕方遅くまで身も心も尽くしてご奉仕いただいているのですが、小規模園でするので十分にお報いすることができません。加えて、今はお断りしていても、将来的には少子化は明らかです。保育の質を高め、施設を充実し、経営の安定を計り、将来に備えねばなりません。芦屋聖

マルコ教会の信徒の皆さんの理解・支援・祈りのもと、学校法人化を計ることとなりました。そしてそのためにどうしても必要な遊戯室(100㎡)を建てることとなったわけです。

遊戯室は昨年12月6日に大西主教様の司式により起工式を行い、今年2月7日に竣工式を執り行うことができました。遊戯室は「聖使館」と命名され、アコーディオンカー

テンで仕切ることができるよう「オリーブ」、「こひつじ」と名づけられました。すでに使用が開始され、園児たちは楽しく遊びまわっています。ときには入園前の「ひよこ組さん」の親子クラスも開かれています。

学校法人は、現在認可申請中です(3月23日の私学審議会で審議されます)。認可された暁には「学校法人芦屋聖マルコ学園」の「愛光幼稚園」

となる予定です。

芦屋聖マルコ教会にとって、愛光幼稚園の学校法人化は、「切り離し」ではなく、むしろ「愛光幼稚園の強化」であって、それは「宣教の強化」となることを期待しているものです。どうぞ、皆さんの熱い祈りとご支援をお願いいたします。

(やまもと まこと 芦屋聖マルコ教会牧師、愛光幼稚園設置者・園長)

第7回 聖公会「手話」関係者全国の集いに参加して

アグネス 田原 孝子

2010年1月10日、11日の2日間、東京教区事務所を会場に第7回聖公会「手話」関係者全国の集いが開催され、大阪教区からは、手話の会「つたえて」のメンバー2人が参加しました。

思いから、教会で使う言葉の手話訳や手話通訳の勉強をすることです。

この集いの目的は「手話通訳を必要とする方が、いつ、聖公会のどこの教会に出席されても説教の内容がつかえらるるよう」

第1回は、1999年1月に大阪教区で開催され、その後、仙台、名古屋、宮崎、横浜、大阪と続き、本年を迎えます。押し詰まってからの申込み案内でしたが、それでも23人が集まりました。今までも参加者のなかった北関東教区、北海道教区からもそれぞれ1人の参加がありました。

11年間、全国の各教会・教区事務所案内を送付した結果で知名度もあがったのか？と嬉しく思いました。事務局は、東京教区が担当し、1日目は開会礼拝、研修会、交流会、2日目は研修会、聖餐式の構成です。

本年の研修内容は「冠婚葬祭シリーズ、第1回通夜の祈り」からです。結婚式の場合よりも手話をきちんとやりた

(次ページにつづく)

成年会ってなあに？

松本 智子



主の御名を賛美いたします。去る2月11日(木・祝)に近畿圏3教区有志の集い、成年会(なるねんかい)を開催しました。今回は新たに各教区に分かれて、交わりを発展させたいということで、初の大坂成年会として、庄内キリスト教会を会場としてお借りし、鍋を囲みながら親交(信仰)を深めることとなりました。

当日はあいにくの雨で、子どもたちは公園へ遊びに行け

ませんでした。材料の買出しに行ったり、2階のプレイルームで遊んだり、大変満喫した様子でした。

鍋の準備は、木村俊道さんを中心に鍋を持ち寄り、キムチ鍋、コーゲン鍋、カレー鍋、鳥だし鍋の合計4種類の鍋ができあがりました。普段、家庭では挑戦しないような鍋も味わえ、大変おいしくいただくことができました。

また、特別ゲストとして神学生3名を迎え、久々の再会などもあり、鍋を囲みながら会話が弾み、あつという間に時間が過ぎていきました。

そして、閉会礼拝では、大西温さんが弾くギターによる「テゼの祈り」で記念すべき第1回大坂成年会を終えることができました。

そもそも、成年会とは、1. 仕事や子育てで忙しい30〜40代中心の会(パートナーどちらかが条件を満たしていればOK)

(前ページよりつづく)

いのとの意見があり、式文の「通夜のいのり」からやろうと決まったそうです。

研修会では、手話を主なコミュニケーション手段とする「ろう者」に礼拝の独特の言葉に配慮があるのか? 「主の祈り」では、祈り書の古いままのものがあるか? 新しく変えられているのか? 等など、手話通訳の際の疑問点、表現方法について意見が交わされました。耳の聞こえない人は情報ももらえないという意味で、情報障害なので、祈り書の中の祈り云々といわれてもよく分からない部分があります。

手話に関わっているわたし達は、「情報の共有」、「信仰の共有」に努める必要があります。

今回は、日程面で教役者の方々のご都合が悪く参加をいただけなかったこともあり、特に聖書のみ言葉が出てくると司祭の同席(参加)が必要と痛感しました。一つの言葉(手話)にも地域性、まとめ方が個人のレベル等の違いがわかり、皆で考えるよい機会でした。

研修の中で、聴覚障害の方々の教会への誘い(お迎えする)が必要で、またいつでも受け入れる体制大切。「手話の前に、まず気持ちが伝わる(伝える)ことが何より大

切である」と、聴覚障害の女性参加者が語った言葉が心に残りました。

閉会礼拝は、東京教区事務所がある敷地内の聖アンデレ主教座聖堂で、大畑喜道司祭(聖アンデレ教会牧師)の司式で聖餐式が行われました。今回は広島を会場に行われることが決まりました。改めて努力と実施の研鑽を積む必要があると実感し、お互いの再会を約束し会を閉じました。この貴重な学びと出会い、分かち合いのチャンスを与えてくださった主に感謝いたします。

(たはら たかこ 川口基督教会信徒)

※20代後半の「もうすぐ成年

世代」の方の参加も歓迎

2. ひとりでも、友人同士でも、夫婦でも、子連れでも気兼ねなく参加できる会

3. 今自分たちにできることを、じっくり話し合い提案し、実行していく会

4. 教会・教区を超えて交わり、つながっていく会

5. 求道者の人たちも自然に入ってくる会

という会ですが、まだまだ教区内でもご存知ない方が多いので、成年会世代以外の方とも交流できるような新しいイベントなどを企画し、皆様に親しんでもらえるような会にできればと思っております。

最後に、私事ですが、なか

なか日曜に自分の教会にも行けていない状態が続いておりませんが、成年会やたまに教会に顔を出したときにあたたかく受け入れてくださる皆様にご心より感謝しております。主に感謝。(まつもと ともこ 西宮聖ペテロ教会信徒)

大阪教区南部地区で

5回にわたり大斎節の集い



南部地区大斎節の集いの礼拝

大阪教区の南部大阪地区5教会では今年も大斎節の集いを行い、2月19日(金)の恵我之荘聖マタイ教会を皮切りに、地区の信徒たちが教会の垣根を越えて集会を持つことが出来た。昨年に続く今年も「南部大阪地区大斎節の集い(夕の礼拝と黙想)」は順次、以下のように行われた。

第1回 2月19日(金)

恵我之荘聖マタイ教会

主題・最後の晩餐

説教者・原田光雄司祭

第2回 2月26日(金)

富田林聖アグネス教会

主題・ゲッセマネの祈り

説教者・松岡慶一司祭

第3回 3月12日(金)

大阪聖三一教会

主題・ペトロの否認

説教者・磯晴久司祭

第4回 3月19日(金)

堺聖テモテ教会

主題・十字架の道行

説教者・大岡創司祭(京都教区和歌山聖救主教会)

第5回 3月26日(金)

聖ルシヤ教会

主題・十字架刑と復活

説教者・鍋島守一司祭

第2回の聖アグネス教会での集いでは、雨にもかかわらず約20人が参集。山本勝彦さんの司式で礼拝を献げ、松岡



お茶とお菓子をいただきながらの楽しい語り合いのひととき

司祭が説教された。説教は、イエス様の両手をかたどったある彫刻の話。差し出された両手は何かを捧げ持つような形だが、実は人を下から持ち上げる形であったという主旨、謎解きのようなお話は結局、私たちを上から引っ張り上げてくださるイエス様の愛を説いてくださる説教だった。礼拝後はテーブルとイスを並べ替えて交わりのひととき、お茶とお菓子と「ぜんざい」を頂き、大きな感謝と喜びを共に楽しむことが出来たことは無上の幸せだった。

(編集部)

2010年大阪教区青少年キャンプ スタッフ募集のお知らせ

日程：8月9日(月)～11日(水)

場所：紀泉わいわい村(大阪府泉南市)

本年も上記のとおり青少年キャンプ(宣教部主催)を行うことになりました。

小学校3年生から中学校3年生までを対象にしたこどもたちのキャンプです。開催にあたって、一緒にキャンプを企画、実行してくれるスタッフを募集します。

対象年齢は18歳以上(高校生は不可)です。

興味のある人は saitoh@fj8.so-net.ne.jp までお気軽にお問い合わせください。

メール以外でのお問い合わせは、宣教部長・齊藤司祭(06-6772-4152 大阪城南キリスト教会)まで

※前回、電話番号に誤りがありました。こちらにおかけください。

教会奉仕者のための学び

ウィリアムス神学館 出張講座

科目：礼拝学入門、
教会問答入門(全10回)

対象：信徒奉事者、サーバー、教会委員、
将来伝道師を志す者、その他。

日程：毎月1回、第4土曜日。
第1回目は4月24日(土)

時間：14:30～17:30

主催：大阪教区生涯学習委員会
ウィリアムス神学館

詳細は 大阪教区事務所 06-6621-2179まで

教区の様子

常置委員会報告

2月16日(第4回定例)

諸報告

- ① 教区内活動の予定、関連行事のほか教務局関係の報告がなされた。
- ② 1月一般会計報告を承認。
- ③ 2009年4月から教区主催になった英語礼拝(聖餐式)の2009年度の会計報告がなされた。
- ④ 2010年度教区礼拝準備

の中間報告を了解した。
 2011年3月退職予定の4司祭が担当する役割分担。式典長・山野上素充司祭
 補式・福田光宏司祭
 説教・奥康功司祭、
 福音書朗読・成田邦雄司祭
 600人参加の礼拝を目指す。150人規模の教区聖歌隊を編成し、陪餐中途切れなく聖歌を歌ってもらう。石橋聖トマス教会の川村輝夫氏に聖歌隊長を依頼。午後のプログラムと運動する形で、当日の信施はJ V

協議事項

1. 人事関係

4月1日付人事異動が2月1日付で公示され、今回次の追加が発表され主教の人事案に同意した。
 「司祭 鍋島守一」社会福祉法人聖ヨハネ学園チャプレンに任命(4月1日付)

(次ページにつづく)

教区関係教役者 逝去者記念聖餐式

◇5月12日(水) 午前11時
 於:主教座聖堂(川口基督教会)
 説教者 坪井 克巳司祭

- 司祭 米村 健治 (1919.5.15)
- 伝道師 小幡 久能 (1961.5.24)
- 司祭 アーネスト・ゴードン・ハッチンソン (1973.5.29 英)
- 宣教師 メーベル・C・バックス (1984.5.30 英)

◇6月9日(水) 午前11時
 於:主教座聖堂(川口基督教会)
 説教者 鍋島 守一司祭

- 司祭 ロバート・マルコム・ミルマン (1945.6.3 加)
- 司祭 オーバスチン 芦澤 光雄 (2002.6.4)
- 司祭 チャールズ・フレデリック・ワレン (1899.6.8 英)
- 司祭 ウイリアム・ペンジェリー・バンコンブ (1942.6.10 英)
- 司祭 ジョージ・テンプシー (1960.6.11 英)
- 司祭 ダニエル 植村 信久 (1980.6.13)
- 司祭 ステパノ 橋本 節 (1996.6.15)
- 司祭 アーウィン・ヘンリー・コレル (1926.6.16 米)
- 伝道師 マルタ 檜内 晰子 (1946.6.18)
- 司祭 ベニヤミン 東 信行 (1943.6.19)
- 司祭 牧岡 鉄弥 (1919.6.20)
- 司祭 ルイス・パーキンソン・ヒル (1943.6.22 英)
- 宣教師 エデイス・メアリー・バーナウ (1944.6.29 英)
- 主教 横田 道信 (1946.6.29)
- 宣教師 アリス・マリアン・コックス (1949.6.29 英)
- 司祭 ヨハネ 荒木 久雄 (1988.6.30)
- 司祭 パウロ 水谷 博彦 (2008.6.30)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前11時から、主教座聖堂(川口基督教会)で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

世界の窓

○チリ教区からの通信

2月28日にチリを襲ったマグニチュード8.8の大地震について、チリ教区は教区のメディアを通して「200万人近くの人々に対する緊急支援」を要望している。チリのヘクター・ザヴァラ主教は「震源から114キロの距離にあるチリ第2の都市コンセプションでは、50万人の人々が、生活必需品もなく路上をさまよっているのが現実である」と報告している。コンセプションには2つの教会があり、2つのスペイン語会衆と1つの英語会衆が両教会に属しており、彼らのうち少なくとも70家族がテント生活を余儀なくされている。また、ガレキなどに塞がれて陸の孤島のようになっている地域が多数存在し、支援活動が難航している。

(Episcopal News Service, March 03, 2010)

(前ページよりつづく)

〔司祭〕趙鍾必 2月1日付で宣教協働者の契約を更新した。(第2期・3年間)

〔聖職候補生〕林 正樹 山野上 素充司祭のもと大阪聖パウロ教会勤務(4月1日付)
〔主教 大西 修〕桃山学院長に就任(4月1日付)

2. 第58(定期)総会に報告すべき教区間協働の件
総会に報告すべき教区間協働については、3月20日までに、前総会から2年間の実績を教務局長が取りまとめることを確認した。

3. 教区慶弔見舞金規定の改定について
教務局長より、財務委員会で検討された改定案が紹介された。一部字句を修正して承認した。2010年2月16日付で実施することとした。

4. 3月21日開催の第103(臨時)教区会後の懇談会テーマについて
ハラスメント防止・対応委員会から、懇談会に代えて、

昨年の第102(定期)教区会に報告した内容および最近の検討経過を説明し、教区・教会の責任ある立場の人々に、「教会として本来あるべき姿、より豊かな教会を目指す」ことがハラスメント防止の願いであることを理解いただくための会をもちたいとの要請があり、これを了承した。

5. その他
①財務委員会が検討中の教役者の給与改定案について中間報告を受けた。

3月9日(第5回定例)

2月16日開催の第4回議事録および教区報に掲載する常置委員会報告を確認し、承認した。

主教報告

1. 現時点で決定している教区の行事、主教の予定が報告された。

2. いわゆる『中川差別発言』を今後「日本聖公会第38

定期総会における部落差別発言(中川差別発言)とし、略称は「日本聖公会部落差別発言」とすることが主教会で承認された旨報告があった。

3. 教区間協働の一環として企画されている「一日人事交流」の大阪教区案が昨夜の教役者会で作成された。京都教区の案とすり合わせて3月末をめどに決定される。

4. 教区審判廷委員会議を3月2日に開催し、審判廷開催時の審判員と書記を選任した。

諸報告

1. 2月一般会計報告を承認した。

2. 各種委員会報告

・生涯学習委員会が企画することになっている「信徒の学び」プログラムの準備が始まった。通信制・アラカルト方式のプログラムを検討することになった。

・4月29日(金)に開催する

キッズフェスティバル準備状況の報告がなされた。
・聖職養成委員会から夏の黙想会準備状況報告がなされた。

協議事項

1. 人事関係

4月1日付人事異動の内、嘱託教役者の委嘱を更新する主教の人事案に同意した。

〔主教 宇野 徹〕嘱託司祭更新(2010年4月1日〜2011年3月31日) 聖贖主教会嘱託司祭、博愛社

チャブレン(大西 修)主教のもと)

〔司祭 坪井克己〕嘱託司祭更新(2010年4月1日〜2011年3月31日)

大阪聖パウロ教会、庄内キリスト教会主日勤務(山野上素充司祭のもと)

〔司祭 松岡虔一〕嘱託司祭更新(2010年4月1日〜2011年3月31日)

聖ルカ教会、富田林聖アグネス教会主日勤務(原田光雄司祭のもと)

〔司祭 松山龍二〕嘱託司祭更新(2010年4月1日〜2011年3月31日) 聖

ガブリエル教会、大阪城南キリスト教会(齊藤 壹司祭のもと)

〔司祭 小池虔二〕嘱託を解く(2010年3月31日)

〔司祭 任 大彬〕休職更新(2010年4月1日〜2011年3月31日)

合わせて現職教役者の主日礼拝担当表が示された。基本的に、全教役者は2つの教会と関わりをもつ主教方針を了解した。

2. 聖木曜日、聖金曜日礼拝の信施奉献先

聖木曜日礼拝の信施は、神学生後援会に。

聖金曜日礼拝の信施は、セント・ジョージ神学校が主催する少年少女平和キャンプがまだ継続中ならばそのキャンプを支援するために献げる。

当該プログラムが継続中であらなければ東京教区岩浅さん経由で中東聖公会エルサレム教区へパレスチナの子ども支援のために送る。

3. 聖ルシヤ教会牧師館をプ

ール学院へ貸し出すことを

- 基本的に承認した。
- 4. 2010年度教役者給与額を承認した。
- 5. その他
 - ・石橋聖トマス教会における土地の購入手続きの進捗状況が報告された。
 - ・3月21日に開催される第103（臨時）教区会の補助書記に林 正樹聖職候補生を任命することを承認した。

京都教区・大阪教区常置委員合同懇談会報告

2010年2月12日（金）
大阪教区教区館で開催されました。

主な懇談・推進を決めたこととは次の通りです。

① 昨年から懸案になっていた、「一日人事交流」について、京都教区の家が説明された。実現のしやすさから、必ずしも1対1の対応にはしないで、迎える教会にはその教会の教役者があり、別の日に他の教会へ赴くイメージで準備されていることを確認した。具体的には、両教区に担当委員を置き、その委員がそれぞれの教区の教役者の希望を聞き、先方教区の教会に割り当て、細部については当該教役者と教会で相談し、実施

日、信徒の同行等を決定する。担当委員には、京都教区・三浦恒久司祭、大阪教区・山本眞司祭が指名された。これは「一日人事交流」なので、教育期間を終了した聖職候補生、執事を含み、学校勤務の聖職も主日勤務の一部として当該プログラムに参加することを前提とする。

② ウィリアムス神学館の協力を得て、大阪教区で準備している「教会奉仕者のための学び」が紹介された。4月24日（土）から8月、12月を除く、毎月第4土曜日の14時～17時30分、大阪聖パウロ教会で開催される。

③ 京都・大阪教区で共同開催している召命黙想会を、目的別に二つに分け、2度開催する方向に進んでいる。8月4日（水）～6日（金）には将来、聖職を目指すかもしれない人、および広く教会奉仕者のために学びと黙想の時を者および聖職への道セミナーである。また、来年3月には、聖職候補生・神学生・神学校を目指している人を対象とした「召命黙想会」を開催することが聖職養成委員会から報告された。



祝受洗

大阪聖ルシヤ教会

カテリーナ 中塚 和代
(2月28日)

ジュード 浦島 正佳
(2月28日)

リベカ 浦島 菜恵
(2月28日)

マチルダ 浦島 朱音
(2月28日)

トマス 浦島 和也
(2月28日)

石橋聖トマス教会

ヨセフ 原田 旬哉
(2月7日)

ヤコブ 原田 修哉
(2月7日)

石橋聖トマス教会

ヨセフ 原田 旬哉
(2月7日)

魂の平安を祈ります

大阪聖ルシヤ教会

イサク 山口 恒夫
(3月1日・82歳)

芦屋聖マルコ教会

ヨハネ 代谷 正元
(09年12月24日・87歳)

ダビデ 橋本 満
(1月4日・84歳)

石橋聖トマス教会

カタリナ 衣笠 奈良美
(3月7日・73歳)

大阪聖アンデレ教会

ルツ 北原 さく
(2月4日・96歳)

大阪聖贖主教会

マリヤ 末延 茂登子
(09年12月29日・84歳)

大阪聖ヨハネ教会

ベタニアのマリヤ 浅沼 淑子
(2月20日・84歳)



教会・施設の動き

石橋聖トマス教会

○礼拝堂建替えのために隣接地を購入し、ひとまず駐車場として使用します。3月14日に大阪教区主教司式によって完成式が執り行われました。これからの教会建替えのためにご加祷ください。

○4月18日(日)午後1時30分から「マンドリン・コンサート2010」を開催します。教会近くに住のプ

ロマンドリン奏者である、葛原陸子氏率いるマンドリン楽団による演奏会です。無料です。お誘い合わせの上お越し下さい。

高槻聖マリヤ教会

○3月21日は京都教区の新司祭 アグネス 三浦恵子師による司式・説教で大きな恵に与ることができました。三浦恵子新司祭には昨年の執事の時代から、第三主日にお越しいただき「み言葉の礼拝」で説教のご奉仕や

マリヤ会(婦人会)でお話をしていただくなど、大変好評を博しており、大阪・京都教区協働の橋渡しとしての働きを果たしてくださいました。4月からは京都教区の教会でのご奉仕に専念されます。

桃山学院大学

○桃山学院大学チャペル(聖救主礼拝堂)において、4月17日(土)午後2時から第96回「チャペルコンサート・パイプオルガン奉献20周年記念Vol.1」を開催します。演奏は渡邊悦朗(ファゴット)、松原晴美(オルガン)。お話に大久保荘介(オルガンビルダー)をお迎えいたします。どうぞご参加ください。

公 示

救主降生 2月16日
日本聖公会大阪教区主教
主教 サムエル 大西 修

日本聖公会法規第41条に基づき、2010年4月1日をもって以下の人事を発令します。

聖職候補生 ジョージ 林 正樹
司祭 ダニエル 山野上素充の指導のもとに大阪聖パウロ教会で勤務することを命じる。

《前号の訂正とお詫び》

前回の教区報、広告欄の城南キリスト教会の電話番号に誤りがありました。正しい番号は(06-6772-4152)です。謹んでお詫び申し上げます。

昇天日礼拝・大阪教区婦人会総会のお知らせ

日時: 5月13日(木)午前10時30分

場所: 大阪聖愛教会

司式: 大西 修 主教

説教: 磯 晴久 司祭

尚、午後から

大阪教区婦人会総会が予定されています。

主催: 大阪教区婦人会

大阪教区子ども礼拝

キッズフェスティバル 2010

「ねえ、知ってる? イエさまはきみが好き!」
「あー、あい・アイ☆ランド」で遊ぼう!



「神は愛です。」(ヨハネの手紙 I 4:16)

4月29日(木・祝) 10:00~15:00

会場: 聖贖主教会

主催: 大阪教区 宣教部生涯学習委員会
(委員長 司祭 ダニエル 山野上 素充)

問い合わせ/石橋聖トマス教会 TEL: 06-6854-8657
キッズフェスティバル実行委員会: 斎藤みち

申し込み/石橋聖トマス教会(FAX 06-6854-8658)まで